

## 会議概要

平成 20 年 8 月掲載

### 開催概要

- ◇ 名 称：平成 19 年度第 3 回新潟市若年者職業支援ネットワーク会議
- ◇ 日 時：平成 20 年 2 月 15 日(金)午前 10 時～正午
- ◇ 場 所：新潟市役所第 1 分館 301 会議室
- ◇ 出席委員：泉委員，今井委員，西條委員，篠田委員，新保委員，中島委員，中山委員(代理出席佐藤岩夫指導主事)，成田委員，樋口委員，福島委員，本間委員，前田委員，皆川委員，山岸委員
- ◇ 事務局  
商工労働課：笠原雇用対策室長(司会)，新井田雇用対策室主幹，堀川雇用対策室主事  
労協センター事業団：武田新潟事務所長  
NPO 法人メンタルフレンドにいがた：市嶋副理事長  
NPO 法人 Made in 越後：真島理事長

### 概要

#### 【新潟地域若者サポートステーションの実績報告とケース紹介について】

- ◇ 来所数は順調に伸びており，フリースペースの利用者が多い。平成 20 年 1 月末現在で 33 名が進路決定した。
- ◇ ハローワークからのリファー（相談に訪れたクライアントに対し，その機関では十分な対応ができない場合に，他の適切な専門機関にクライアントを紹介すること）が多い。
- ◇ 新発田サテライトで商店街で店主と交流するプログラムを利用し，そこでお互いの立場を理解してからジョブトレーニングにもっていくという流れがあり，それが比較的うまく機能しているようだ。

#### 【協力事業所の状況について】

- ◇ 21 か所の協力事業所があり，そのうち 3 事業所が採用枠を持っている。
- ◇ サポステには車を持たない利用者が多く，公共交通機関で通うことのできるような協力事業所を増やしたい。
- ◇ 市でいろいろな機会を捉えて協力事業所を増やすための広報をしたい。

#### 【国の動向と各機関の来年度事業について】

- ◇ 国では現在全国に 50 か所ある地域若者サポートステーションについて，来年度は

77 か所に増やす方針のようだ。

【生活保護者の把握について】

- ◇ 民生委員からのリファーにも限界がある。生活保護世帯には高齢者世帯が圧倒的に多く、サポステの対象者は少ないのではないか。
- ◇ 査察指導員会議が少なくとも 2 か月に 1 度行われるので、その機会にサポステの周知に努めたい。

【発達障がい者の自立支援について】

- ◇ 成人の場合、症状があり機能的に障がい認められていても、今困っていなければ特に診断を下す必要はない。本人や周囲が「今困っている状況」かどうかを判断し、その上で診断を下すことが必要で、そこから支援がはじまる。

【大学生のメンタルヘルスについて】

- ◇ 大学生の中にもひきこもりが増えている。そういった層がニートとつながる可能性があるとの共通認識を委員の中で持ちたい。

**会議資料**

- ◇ 次第
- ◇ 資料
  - 1 新潟地域若者サポートステーション 事業実施状況とケース紹介
  - 2 ジョブトレーニング受入企業一覧
  - 3 新潟地域若者サポートステーション 新聞記事（平成 19 年 11 月 8 日 新潟日報）
  - 4 平成 19 年度自立支援講座報告書（新発田サテライトの取り組み）
  - 5 平成 20 年度若年者自立支援事業について
  - 6 発達障がいの理解のために